

2024年2月28日

各 位

ENEOS オーシャン株式会社

従来の離着棧支援装置に新たな機能を追加し大型危険物積載船への搭載を決定

ENEOS オーシャン株式会社（本社：横浜市西区、代表取締役社長：廣瀬 隆史。以下「当社」）は、三井E&S造船株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：小葉竹 泰則）および株式会社三井造船昭島研究所（本社：東京都昭島市、代表取締役社長：五十嵐 和之）と共同開発した離着棧支援装置（以下、本装置）に、新たな機能を加え当社が運航する大型原油タンカー（VLCC）全船へ搭載することを決定しました。

本装置は、2022年に大型原油タンカー（アフラマックス）向けに、株式会社三井造船昭島研究所の入港支援技術および三井E&S造船株式会社が開発を重ねた自動運航の技術と、当社が長年培ってきた巨大船での危険物安全輸送における操船ノウハウを織り込み共同開発されたもので、操船者が着棧・着標時における船舶の位置や挙動等を詳細に把握することを支援し、離着棧時の安全性向上を担います。その装置に、この度、一点係留ブイに対応する機能を追加開発し、当社が運航する大型原油タンカー（VLCC）全船へ実装します。

本装置によって、リスクの高い離着棧作業等の操船事故の未然防止による海上輸送の安全性向上のみでなく、操船者の作業負荷軽減を実現するとともに、事故による環境へのリスクを大きく低減できることが期待されます。

以 上

**(\*) 特許出願について（訂正）**

2022年5月25日付のニュースリリースにて、本装置に関し「特許出願準備中」である旨を記載しておりましたが、三者間で協議し、特許出願は行わないことを決定いたしました。

つきましては本ニュースリリースの配信をもって当該記載を訂正させていただきます。

**【本件に関するお問い合わせ先】**

ENEOS オーシャン株式会社

総務部 総務グループ TEL：045-307-3112 [担当：佐竹]